社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会

ショートステイサービス利用契約書

※ 1

様(以下「利用者」といいます。)と社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会(以下「事業者」といいます。)は、利用者が事業者から提供される障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下「障害者総合支援法」といいます。)に基づく短期入所(以下「短期入所サービス」といいます。)を受け、それに対する利用料金を支払うことについて、次のとおり契約(以下「本契約」といいます。)を締結します。

※1…利用者が未成年であっても、利用者本人の氏名を記入してください

第1章 総 則

(契約の目的)

第1条 この契約は、利用者が可能な限りその地域における生活が継続できることを念頭に置いて、事業所が利用者に対し、短期的な事業所利用を提供して日常生活上の援助、日中活動支援等を行うことを目的として、障害者総合支援法に規定される「短期入所事業」のサービスについて定めます。

(短期入所サービスの内容)

- 第2条 事業者は、別紙「重要事項説明書」に定める内容のショートステイサービスを提供します。
 - 2 ショートステイサービスの提供は、事業所の医師、看護職員等の従業者が当たります。
 - 3 事業者は、ショートステイサービスの提供に当たっては、利用者の障害程度に 応じて、利用者にショートステイサービスを提供します。
 - 4 事業者は、日常生活上の援助や日中活動支援に当たっては、利用者の自立支援 及び日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって行います。
 - 5 事業者は、利用者の食事に関し、利用者の栄養、身体状況及び嗜好を考慮する とともに適切な時間に食事を提供します。
 - 6 事業者は、ショートステイサービスの提供に当たっては、利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、行動制限その他利用者の行動を制限する行為を行いません。

第3条 この契約の期間は、<u>令和 年 月 日から</u><u>令和 年 月 日</u>とします。 ただし、契約期間満了日以前に利用者が障害程度区分の変更を受け、支給有効期間 の満了日が更新された場合には、変更後の有効期間の満了日をもって契約期間の満 了日とします。

※2・・・受給者証の有効期間終了日

2契約期間中の利用期間は「契約書別紙(第3条関係)」のとおりです。

第2章 事業者の義務

(相談及び援助)

第4条 事業者は、常に利用者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め利用者又はその家族の相談に適切に応じるとともに、必要な助言その他の援助を 行います。

(健康管理)

第5条 事業者は、常に利用者の健康に注意するとともに、健康保持のために適切な措置 を講じます。

(守秘義務)

- 第6条 事業者は、正当な理由がない限り、その業務上知り得た利用者又はその家族の個 人情報を保持する義務を負います。
 - 2 事業者は、従事者が退職後、正当な事由がなく在職中知り得た利用者又はその家 族に関する個人情報を漏らすことがないよう必要な措置を講じます。

第3章 利用料金

(利用料金)

- 第7条 利用者は、サービスの対価として市町村が定める定率負担額ならびに生活にかか わる費用のうち実費負担として、食費及び光熱水費の合計金額を事業者に支払うも のとします。ただし、障害者総合支援法に基づく介護給付費等については、利用者 に代わり市町村より代理受領します。
 - 2 事業者は、利用者が希望する特別なサービスに要する費用の支払いを利用者に請求できます。
 - 3 事業者は、<u>ショートステイ</u>サービスの提供にあたっては、あらかじめ利用者に対し、当該サービスの内容及び費用について説明を行い、利用者の同意を得ます。

(利用料金の支払方法等)

- 第8条 利用者は、<u>ショートステイ</u>サービスの提供の対価として、別紙「重要事項説明書」 に定める利用料金の合計金額を、事業者に支払います。
 - 2 利用者は、サービス利用料金をサービスの利用終了時に事業者に支払うものとします。
 - 3 事業者は、利用者から利用料金の支払いを受けた時は、利用者に領収書を発行します。

ただし、銀行振込の場合は、振込書を領収書とみなしますが、必要に応じて領収書も発行します。

第4章 契約の終了

(契約の終了)

第9条 利用者は、7日以上の予告期間をおいて文書で事業者に通知する事によりこの契約を解約する事が出来ます。ただし、次の事由に該当する場合には、利用者は文書で通知する事により直ちにこの契約を解約する事が出来ます。

- (1) 事業者が正当な理由なくサービスを提供しないとき。
- (2) 事業者が守秘義務に違反したとき。
- (3) 事業者が社会通念に逸脱する行為を行ったとき。
- 2 事業者は、やむを得ない事情がある場合には、利用者に対し、7日間の予告期間 をおいて理由を示した文書で通知することにより、この契約を解除することが出来 ます。ただし次の事由に該当する場合には、文書で通知することにより、直ちにこ の契約を解約する事が出来ます。
 - (1)利用者が病院又は診療所に入院し、明らかに契約期間以内に退院できる見込みがない場合、
 - (2)利用者がこの契約を継続し難いほどの不信行為を行ったと認めるとき。
 - (3) 天災、災害その他やむを得ない理由により事業所を利用させることが出来ない場合
 - (4)利用者が死亡した場合。

第5章 損害賠償

(損害賠償)

- 第10条 事業者は、<u>ショートステイ</u>サービスの提供により事故が発生した場合は、関係市町村、利用者の家族に連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。
 - 2 事業者は、ショートステイサービスを提供する上で、この契約の条項に違反し、 又は事業者の責に帰すべき事由により利用者に損害を与えた場合には、その損害を 速やかに賠償する義務を負います。

(情報の保存)

第 11 条 事業者は、利用者に対するショートステイサービスの提供に関する書類等を整備 し、この契約終了後、5 年間保存します。

第6章 その他

(苦情解決)

- 第12条 利用者又はその家族は、事業者が提供したショートステイサービスに関する苦情がある場合はいつでも別紙「重要事項説明書」に記載されている苦情相談担当窓口に苦情を申し立てることができます。事業者は、苦情が申し立てられたときは、迅速かつ適切に対応するとともに、必要な措置を講じます。
 - 2 事業者は、利用者又はその家族が苦情申し立てした場合に、これを理由として利用者に対し、一切の不利益を与えません。

(法定代理人)

- 第13条 事業者は、利用者に対し、法定代理人を求めることがあります。ただし、社会通 念上、利用者に法定代理人を立てることができない相当の理由が認められる場合は、 身元引受人を求めることとします。
 - 2 法定代理人は、この契約に基づく利用者の事業者に対する一切の責務につき、利用者と連帯して履行の責任を負います。
 - 3 法定代理人は、次の各号の責任を負います。

在宅重症心身障害児ショートステイサービス受け入れ管理パス No2 2025.3.31-12 小児科主任部長承認

- (1) 利用者が疾病等により医療機関に入院する場合、入院手続きが円滑に進行するように事業者に協力する事。
- (2) 契約解除又は契約終了の場合、事業者と連携して利用者の状態に見合った適切な受入先確保に努めること。
- (3) 利用者が死亡した場合の遺体の引き取り、遺留金品の処理その他必要な措置。(家族及び身元引受人)

(協議事項)

第14条 本契約に定められていない事項について問題が生じた場合には、事業者は障害者 総合支援法その他諸法令の定めるところに従い、利用者と誠意をもって協議するも のとします。

上記の契約の成立を証するために、この契約書2通を作成し、利用者又は法定代理人又は利用者及び身元引受人及び事業者が記名押印の上、各自その1通を所持します。

令和	年	月	日
利	用者	住	所
		氏	名
	定代理人)	住	所
		氏	名印
身え	元引受人	住	所
		氏	名印
事	業者	所在	在地
		名	称
		代表	表者印

<契約書別紙(第3条関係)>

番号	利用期間							計	契約日				利用者印	施設担 当者印
	令和	年	月	日令	和年	月	日	П	令和	年	月	日		
		時	分か	16	時		分まで	日						
	令和	年	月	日令	和年	月	月	П	人工口	Æ	-			
		時	分か	36	時		分まで	日	令和	年	月	日		
	令和	年	月	日令	和年	月	日	日	△£n	年	月	日		
		時	分か	16	時		分まで	Н	令和	+				
	令和	年	月	日令	和年	月	日	日	令和	年	月	日		
		時	分か	3 G	時	:	分まで	Н	11 J.H					
	令和	年	月	日令	和 年	月	目	日	令和	年	月	日		
		時	分か	·6	時		分まで	H						
	令和	年	月	日令	和 年	月	日	日	令和	年	月	日		
		時	分か	16 6	時		分まで							
	令和	年	月		和 年		目	目	令和	年	月	日		
		時	分か		時		分まで	, ,						
	令和	年	月				日	目	令和	年	月	日		
		時	分か	-	時		分まで		, ,,					
	令和	年	月				日	日	令和	令和 年	月	日		
	_	時	分か		時		分まで		1. 11.			• •		
	令和	年	月				日	目	令和	年	月	日		
	_	時	分か		時		分まで							
	令和	年	月				日	日	令和	介和 年	月	日		
		時	分か		時		分まで							
	令和	年	月				日	日	令和	年	月	日		
	A =	時	分が		時		分まで							
	令和	年	月、、、				日	目	令和	和年	月	日		
	Λ± ₁₁		分が		時		分まで							
	令和	年	月八小				日ハナズ	日	令和		月月月月	日日		
	△ ∓n		分か		時		分まで							
	令和	年時	月 分か				日 分まで	目						
	△ ≠n	- FT 年					カェで 日		令和	年	月	日		
	令和		月 分が		和 年 時		分まで	目						
	令和	年	月		-		カ _よ て 日			和 年	月	日		
	In J.H		カ 分が		ru 中 時		分まで	目	令和					
	令和	年					月							
	11 J.H		分か		時		分まで	目	令和	年	月	日		
		⊬ 4	J1 /J		н <u>-</u> Д		ハムし							